

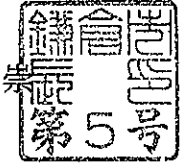
鎌総第499号

令和8年(2026年)5月15日

鎌倉市議会議長

中澤 克之 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

令和8年(2026年)4月24日時点の回答において別途送付としていた江ノ電長谷駅近隣の交通問題に関する御質問について別紙のとおり回答します。

事務担当

総務課総務担当(内線2242・2243)



議会受付番号	文書質問第3号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (都市政策部交通計画課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第3号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

長谷駅近隣の交通問題について再三質問しているが殆ど改善策が実施されていない。以下の危険な状態を改善するにはハード的改善を行う必要があると考えるが、今後の対応をどうするのかの回答を、江ノ電、神奈川県、神奈川県警、鎌倉市からそれぞれ頂きたい。インバウンドの増加の影響は当然あるが、以下あげている最大の問題要因は①である。江ノ電は改善するつもりが無いようだが、神奈川県、神奈川県警、鎌倉市はどのように考えているのか合わせて伺いたい。

- ① 江ノ電長谷駅構内踏切を閉鎖、長年閉鎖していた藤沢行きホームの改札を開通させた事により人の動線が大きく変わり踏切付近の通行が危険な状態になっている。
- ② 踏切が閉まっている時に人が溜まり、踏切が開くと一気に歩き出すので、県道の路上、踏切上に人がはみ出るので非常に危険。また乱横断が頻繁に発生しているので更に危険。
- ③ 踏切近辺が横断歩道状態になっており、踏切で車が一時停止すると歩行者は車が止まってくれたと思って横断。私は最低1日2回通るが、今まで何度も急ブレーキを踏んだ事があり危険な状態。
- ④ ②の時、歩行者が大仏側から海方面と改札方面に向かって進むのは非常に困難。また、坂ノ下方面に行く人が踏切脇を渡るケースが大幅増加。急に出てきて大変危険な状態。
- ⑤ ②の時、県道を車両が通行するのに支障をきたしており渋滞が発生している。また踏切近くに横断歩道があり頻繁に渡る事により更に渋滞が発生する。この横断歩道は設置場所に問題がある。
- ⑥ インバウンド増加により長谷駅近隣は混雑が激しくなり、長谷駅および県道藤沢鎌倉線沿いは異常な増加具合で人が溢れている。直通バスなど代替え交通の導入が必要である。
- ⑦ 藤沢行き改札口は通路が真ん中で分かれておりそれぞれ幅が狭く混雑時通行が困難。また、改札口に入出入りする為の市道部分は幅が非常に狭い(幅2m39cm)
- ⑧ ⑦の道は路面状態が悪く車椅子、ベビーカー、スーツケースなどの通行が困難。
- ⑨ 混雑時藤沢行きホームから降りる客が多く⑦の道は電車到着後は一般交通の通行が困難な状況になる。奥の住宅地への出入りが出来なくなる。ここは江ノ電の専用道路ではない。

2 質問の理由

これから混雑するシーズンになるが、一向に改善されないままになっているので質問する。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

江ノ電長谷駅近隣の交通問題に関する御質問について、江ノ島電鉄株式会社に回答を求めたところ、以下のとおり回答を受けています。

なお、神奈川県藤沢土木事務所、神奈川県警察鎌倉警察署、鎌倉市都市整備部道路河川管理課及び鎌倉市都市政策部交通計画課からの回答は、先行して提出しました答弁書に記載しておりますので、本書には未記載であることを申し添えいたします。

①に対する回答

ゴールデンウィークや紫陽花シーズンなど混雑時は、極楽寺4号踏切道（長谷駅前）の動作終了後、一時的に通行しにくい状態になることは承知している。一般公道上ではあるものの、混雑が予想される日には自主的に警備員を配置し、誘導、ご案内を行っている。

②に対する回答

踏切の動作が終了することで開くため、歩行者が歩き出すのはごく当たり前のことであるが、県道の路上、踏切上に人がはみ出すことに対しては、降車旅客が多い際の一時的な状況であり常時ではない。弊社としても、一般公道上ではあるものの、混雑が予想される日には自主的に警備員を配置し、誘導、案内を行っている。

③に対する回答

駅近隣での乱横断や車道にはみ出す行為は、混雑期には長谷駅付近だけでなく、駅から高德院にかけての県道でも同様に発生している。踏切付近は公道上であるが混雑が予想される日には自主的に警備員を配置している（モラル・道路交通法で取り締まるべき）。

④に対する回答

海方面および改札方面へ向かって進むのは非常に困難なのは、上り列車からの降車が多い際の踏切動作終了後の一時的な状況であり常時ではない。また、踏切脇を渡るケースは構内通路廃止前から発生していた状況である。一般公道上ではあるものの、混雑が予想される日には自主的に警備員を配置し誘導を行っている。

⑥に対する回答

長谷駅近隣の混雑による人が溢れている状況は、長谷駅近隣だけではなく、長谷観音交差点や高徳院にかけて、県道全体で発生していると認識している。弊社としては、公道上ではあるものの、長谷駅前踏切へゴールデンウィークをはじめ混雑期には警備員を配置している。

また、直通バスなど代替え交通については、乗務員不足および長谷・大仏周辺での折り返し用地の確保が必須であるため、新たな便の設定は困難である。なお、実施する場合には、道路渋滞の緩和も必要であるため、鎌倉駅西口への乗り入れ等を考慮していただきたい。

⑦の内「藤沢行き改札口は通路が真ん中で分かれておりそれぞれ幅が狭く混雑時通行が困難」に対する回答

用地制約上の問題があるなか、通路はスロープと階段に分かれており、改札機の設置位置を変えて乗車と降車の流れを作ることで混乱を防止しており、また、繁忙期には駅係員、警備員を配置している。

⑨に対する回答

市道部分が江ノ電の専用道路ではないことは承知しており、一般公道上ではあるものの、混雑が予想される日には自主的に警備員を配置し誘導を行っている。

以上